

府中市消防団 70周年記念号

令和7年1月12日 発行・編集 府中市消防団（府中市総務管理部防災危機管理課内） TEL 042-335-4068 FAX 042-335-6395



府中市消防団長 川崎 好之

あけましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに
お迎えのこととお喜び申し上げます。また、日頃より府中市
消防団に対しまして、ご理解とご協力を賜り、心から感謝申し
あげます。

昭和29年4月に府中市が施行されたと同時に府中市消防団も発足しました。本年度
は府中市施行70周年及び府中市消防団創立70周年の記念すべき節目の年にあたる
ため、消防団だより70周年記念号を発行する運びとなりました。

府中市消防団は、郷土を守る消防団として26万市民の生命・身体・財産を守るべく
日々訓練に励んでおります。また、歴代団長をはじめ、先人たちのご努力の積み重ね
により市民の皆様に関わり、地域に密着し、社会構造の変化等に的確に対応し
ながら消防力強化を図ってきました。長い歴史と伝統の中で、このような消防団を
さらに知っていただけるよう、消防団だよりを作成いたしましたので、ぜひご高覧
いただきたく存じます。

結びに、市民の皆様におかれましては、府中市消防団へのより一層のご理解と
ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、今年一年のご健勝、ご多幸を
ご祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。



府中市長 高野 律雄

このたび、府中市消防団が創立70周年を迎えられました
ことを、心からお祝い申し上げます。また、「消防団だより」
がその記念号として発行されますことを、重ねてお喜び申し
あげます。

府中市消防団の皆様におかれましては、日頃より、市民の
生命・身体・財産を守るため、昼夜を問わず火災の鎮圧はもとより水防活動や警戒・
救助活動にあたっていただいているとともに、平時にあっては地域に密着したきめ
細かい火災予防・広報活動と防災意識の高揚に努めていただいておりますことに、
改めまして深く感謝申し上げます。また、70年間の長きにわたり、市民の安全・安心な
暮らしを守るため、貴団が世代を継ぎ活動されてきたことは、誠に同慶にたえません。

本市といたしましても、令和元年台風第19号や令和6年能登半島地震などの災害
を教訓として、防災や危機管理体制構築の重要性を改めて認識するとともに、消防団
と連携し、お力添えを賜りながら「安全で快適に暮らせる持続可能なまち」の実現に
全力で取り組んでまいり所存でございます。

創立70周年を契機といたしまして、府中市消防団の皆様が市民の信頼と堅い団結
のもとにますますご活躍されますことを期待いたしますとともに、団員並びにご家族
の皆様のご健勝、ご多幸を心から祈念申し上げ、ご挨拶いたします。

目 で 見 る 府 中 市 消 防 団 7 0 年 の あ ゆ み

昭和29年～36年

昭和29年9月 洞爺丸台風	昭和34年9月 伊勢湾台風
昭和30年10月 新潟市大火	昭和35年5月 チリ地震津波
昭和33年2月 東京宝塚劇場火災	昭和36年9月 第二室戸台風



昭和37年～48年

昭和38年4月 日暮里大火	昭和40年1月 大島大火
昭和38年8月 池袋西武百貨店大火	昭和43年5月 十勝沖地震
昭和39年6月 新潟地震	昭和47年5月 大阪千代パートビル火災



昭和49年～60年

昭和49年5月 伊豆半島沖地震	昭和53年6月 宮城県沖地震
昭和49年9月 台風第19号による多摩川堤防決壊	昭和57年2月 ホテルニュージャパン火災
昭和53年1月 伊豆大島近海地震	昭和58年5月 日本海中部地震



昭和61年～平成9年

昭和61年2月 熱海温泉ホテル大東館火災	平成3年9月 台風第19号
昭和62年6月 特別養護老人ホーム松寿園火災	平成6年12月 三陸はるか沖地震
平成3年6月 雲仙普賢岳噴火	平成7年1月 阪神・淡路大震災



初代団長 野口 栄治

昭和29年4月～
昭和37年11月

それまでの一町二村体制から昭和29年4月に初代府中市消防団長として、当時658名の団員を統率し、府中市消防団としての礎を築き上げ、強固な体制を作るため多岐にわたり活躍されました。



第二代団長 川崎 雄治

昭和37年11月～
昭和49年11月

府中市消防団長として初めて東京都北多摩地区消防団連絡協議会会長に就任しました。また、府中市消防団員互助会を発足させ、団員相互の連絡協議の充実を図りました。



第三代団長 市川 祐次

昭和49年11月～
昭和61年11月

消防団詰所から防災センターへ改築し、武蔵台に第18分団を新設しました。また、制服をモデルチェンジするなど、消防団のハード面での強化を図りました。



第四代団長 粕谷 善右

昭和61年11月～
平成10年11月

夜間の消防活動に多大な活躍が期待される照明電源車を北多摩地区で初めて配備し、消防団の活動能力向上に尽力されました。

平成10年～17年

平成11年11月 新宿思い出横丁火災	平成15年7月 宮城県北部地震
平成12年3月 北海道有珠山噴火	平成16年10月 新潟県中越地震
平成13年9月 新宿区歌舞伎町ビル火災	平成17年3月 福岡県西方沖地震



平成18年～27年

平成19年3月 能登半島地震	平成23年3月 東日本大震災
平成19年7月 新潟県中越沖地震	平成25年10月 台風第26号
平成20年6月 岩手・宮城内陸地震	平成26年8月 豪雨による広島市土砂災害
平成20年7月 岩手県沿岸北部地震	平成26年9月 御岳山噴火



平成28年～令和5年

平成28年4月 熊本地震	令和元年9月 台風第15号
平成28年12月 糸魚川大火	令和元年10月 台風第19号により府中市で初の避難指示発令
平成29年8月 築地市場火災	令和3年7月 伊豆山土砂災害



令和6年～

令和6年1月 能登半島地震	令和6年8月 台風第10号
日向灘地震に伴い南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表	令和6年9月 能登半島大雨災害



第五代団長 谷合 不三雄

平成10年11月～
平成18年3月

府中市消防団50周年式典や北多摩地区消防大会を陣頭指揮し、成功に導きました。節目の50周年を機に新たな時代に対応できる消防団活動を展開すべく多岐にわたる活躍をし、藍綬褒章を受章されました。



第六代団長 横田 実

平成18年4月～
平成28年3月

平成23年3月の東日本大震災が発災した際、府中市の宮城県多賀城市へ支援物資搬送のため、団本部同行を判断しました。また、府中市消防団長としてはじめて、東京都三多摩地区消防団連絡協議会会長に就任し三多摩地区消防団の消防活動に貢献するなど、多岐にわたる活躍をし、藍綬褒章を受章されました。



第七代団長 本間 郁浩

平成28年4月～
令和6年3月

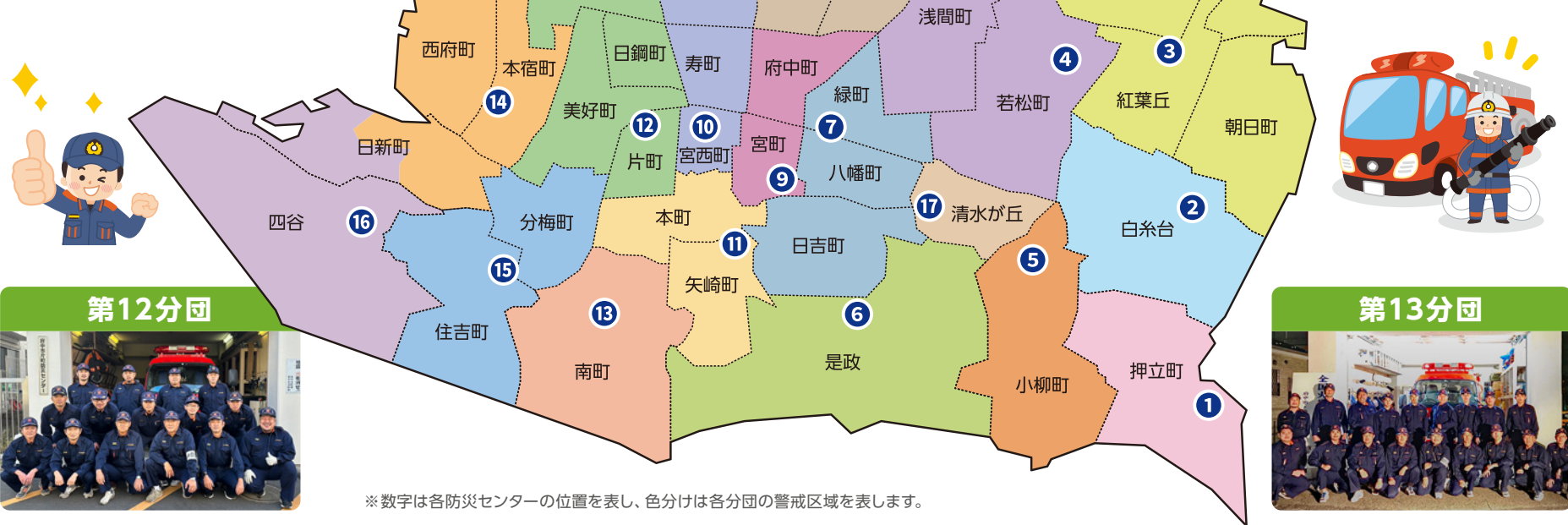
令和元年台風19号では、団本部の中央防災センターへの参集や分団の広報巡回を指示し、府中消防署や府中市と連携し対応しました。また、消防団のポンプ車更新を行い、更なる消防力向上を図ったほか、北多摩地区消防団連絡協議会会長に就任し、北多摩地区の消防団の発展に尽力されるなど、多岐にわたる活躍をし、藍綬褒章を受章されました。



第八代団長 川崎 好之

令和6年4月～

歴代団長の意思を引き継ぎ、約400人の団員を統率し、消防団の発展に寄与しています。また、府中市消防団としては初めて女性団員の募集を開始し、令和7年度入団に向け準備を進めています。



女性団員誕生

令和7年4月に府中市消防団として初の女性団員が誕生します。主に、火災予防等の啓発活動や消火活動、防災訓練等での講話や救命講習指導といった活動を予定しており、幅広い活躍が期待されています。



分団紹介

府中市消防団は、団本部及び18個の分団から成る約400名で構成されています。市内で災害が発生した際は団本部の指令に基づき、それぞれの防災センターから消防ポンプ車にて出動します。

また防災センターには、消防車両のほか防火衣やヘルメットなどの装備品、チェーンソーや油圧ジャッキなどの資機材が配備されており、消防団員はそれらの点検や訓練のため、団員が多く集まることのできる夜間や休日に活動しています。

市民の皆様におかれましては、消防団員が仕事を持ちながらも、昼夜を分かたず消防団活動に励んでいる現状をご理解いただき、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

▼ 広報委員長コラム ▲

新年おめでとうございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。

さて、府中市消防団が創立70周年を迎えたことを記念し、広報誌を作成いたしました。作成にあたり、ご協力いただいた関係各位にこの場をお借りし、感謝申し上げます。

本誌には昭和29年発足から現在までの府中市消防団の歴史や災害事例を中心に掲載しております。過去の災害を思い返し、改めて防災知識の大切さ、訓練の重要性を認識いたしました。今後も団員一同、消防団活動に精進いたしますので、引き続きのご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

本年も府中市消防団をよろしくお願い申し上げます。

広報委員長 第8分団 団員 大清水 航

広報委員会名簿	■会長	団 長…川崎 好之	■西部ブロック長	第11分団…加藤 聖也
	■副会長	副 団 長…海老澤拓馬	第13分団…高橋 由	第17分団…齋藤 拓海
	■広報委員長	// …田中 良和	■東部広報委員	■西部広報委員
	第8分団…大清水 航	第1分団…横田 真治	第12分団…依田 和也	第14分団…新澤 宏
	■東部ブロック長	第2分団…長代 則彦	第15分団…増田 哲也	第15分団…増田 哲也
	第5分団…山田 奉幸	第3分団…安井 健浩	第16分団…市川 潤	第16分団…市川 潤
	■中部ブロック長	第4分団…金井 健一	第18分団…室 祐樹	第18分団…室 祐樹
	第7分団…藤島 裕也	第6分団…榎本慎一郎		
		■中部広報委員		
		第9分団…大室 元		
		第10分団…小島 清匡		